

あいち病害虫情報 最新情報

平成28年10月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今後の気温は高い見込み

名古屋地方気象台10月13日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い見込みです。

キャベツ黒腐病などの細菌性の病害に注意！

キャベツ及びハクサイの軟腐病など細菌が原因となる病害は、風雨により発生が助長されます。長雨や台風の影響でキャベツ黒腐病が多く発生しているほ場があります。抗生物質剤や銅水和剤などで防除しましょう。なお、銅水和剤を用いる場合は、炭酸カルシウム剤（クレフノンなど）を加用して、薬害の発生を防ぎましょう。

ハクサイではアブラムシ類の発生に注意！

10月上旬の調査では、アブラムシ類の発生量が多い状況です。発生が見られるほ場では、結球前に防除を徹底しましょう。

野菜類ではハスモンヨトウなどのチョウ目害虫の発生に引き続き注意！

フェロモントラップにおける誘殺数はオオタバコガ、ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウは多い状況です。気象予報によれば、今後気温は高い見込みで、これらの害虫の発生に好適な条件が続きます。ほ場での発生状況に注意し、適宜防除しましょう。

コナガが発生しているほ場が増えています。コナガは前述の害虫に比べて寒い時期まで発生が続きます。ほ場での発生状況に注意しましょう。コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けて防除しましょう。

トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミに注意！

トマト黄化葉巻病は9月下旬の調査では、やや多い状況でした。この病気の病原ウイルスはタバココナジラミによって媒介されます。タバココナジラミの防除を徹底しましょう。

イチゴの病害虫

9月下旬の調査では、ハダニ類の発生量は平年並でした。しかし、気象予報では気温は高い見込みでハダニ類の増殖に好適な条件が続きます。多発した後では防除が難しくなるので、気門封鎖型薬剤を積極的に活用し、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。

炭疽病は、気温の高い状況が続くと発生量が多くなります。引き続き発生に注意して、発病株を見つけたら速やかに抜き取り処分しましょう。

ダイズの害虫

ハスモンヨトウ及びオオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、概ね平年並の状況ですが、ほ場間差が大きいです。気象予報によれば、今後、気温は高い見込みで、害虫の発生に好適な条件が続きます。吸実性カメムシ類やチョウ目害虫の発生が多いほ場では、収穫前日数に注意して防除しましょう。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病虫害防除室
TEL 0561-62-0085 内線471 FAX 0561-63-7820